

# 愛ランド通信

～ 人と動物の共生を目指して～ 平成 27 年度秋号



## 犬&猫の飼い方 注意情報

### 避妊・去勢手術について考えよう

「避妊・去勢手術はしたほうが良い」って聞けば「健康なのに手術をするのはかわいそう」「手術費用が高い」「繁殖させないようになっているから大丈夫」など、なかなか決断できないこともあるのでは？今回は、繁殖制限をテーマに、環境省の情報を確認し、獣医さんにも話をお聞きしてまとめてみました。

まず、動物愛護管理法では、原則、避妊・去勢手術などの繁殖制限をするよう努力規定が設けられています。表の利点①に挙げた望ま

い妊娠がなくなり、不幸な犬猫を減らすことができるのはとても大切なことです。完全室内飼いだからと安心はできません。災害やアクシデントで屋外に出ることもありえます。この他、「かわいそうだから」と未手術の野良猫に安易に餌を与えることも、産み落としの子猫を増やす原因になっています。また、利点②や③の病気のリスクが軽減されるだけでなく、繁殖の本能を犬や猫はコントロールできないので、利点④や⑤により「寿命が延びる」ことは飼い主さんにとっても安心につながるのではないのでしょうか。

とはいうものの、避妊・去勢手術には心配な面もあります。例えば、表の欠点①に挙げた手術や麻酔のリスク。手術時の年齢や犬猫

避妊・去勢手術の主な利点と欠点	
利点	①望まない妊娠がなくなる。 ②精巣（オス）や卵巣・子宮（メス）の病気のリスクがなくなる。 ③乳腺腫瘍や肛門嚢腫（犬）など、性ホルモンに関する病気のリスクが低くなる。 ④発情期特有の困った行動がなくなる。（猫では大きな鳴き声、トイレ以外での排尿、マーキング、ケンカ、外に出たがるなど。） ⑤様々なリスクやストレスが軽減することにより、寿命が延びる。
欠点	①手術や麻酔のリスクがある。（適切な麻酔管理で軽減できる。） ②肥満傾向になる。（適切な運動・食餌の管理で防ぐことができる。）

（参考）環境省HP

の種類、健康状態等により危険度が異なるため、獣医さんは適切な管理と処置を行いますとのことでした。

最終的に手術の実施の決断は、飼い主さんの責任ですが、まずは動物病院の獣医さんに相談してみましょう。（iroha）

## インタビュー

センターから譲渡されたニャンコその後、どうしていますか？

### 家族に迎えて

▼紗弥ちゃんとシュシュくん



足の白いソックス柄がチャームポイントのキジトラ猫のシュシュくんは、やんちゃ盛りの4カ月（取材当時）。とにかくじっとしていなくて、人でも物でも動くものを見ると、お尻をフリフリしてジャンプ！「おかげで家族は生傷が絶えません。でも、何をしても、元気やったらええかなって（笑）」

坪倉さんは、前に4匹の猫と暮らしていましたが、去年の年末に最後の1匹を亡くしてから半年が経っていました。「猫のいない生活はやはり寂しくて…。飼い主を探している子猫がいるなら1匹でも救いたいと、センターへ行きました。そこで出会ったのが、前の子に似ていた2カ月のキジトラでした。センターの職員さんがよく世話をしてくださっていたんでしょね。手のかからない、ほんまにいい子です」

シュシュというおしゃれな名前は、お嬢さんの紗弥ちゃんが好きなアニメキャラクターの名前からとりました。「娘にとっては弟のような存在ですかね。もう可愛くてしかたないようです」ごはんも好き嫌いなく、何でも食べて健康そのもの。もりもり食べて、大きくなーれ。（M.I）

お鍋に入るの大好き！▶



## イケメンにゃんこは、やんちゃ盛り

坪倉由佳さんは、京都動物愛護センターから生後2カ月の子猫を譲り受けました。そのシュシュくんとこの今の暮らしぶりを伺いました。

## 案内

京都動物愛護センターには、新しい飼い主を募集している犬と猫がいます。譲渡に関して確認事項もありますので、まずは愛護センターまでお電話下さい。



編集後記 今年の夏、多くの子猫が譲渡されていきました。シニア猫になるまで幸せに暮らしてほしいです。（オバQ）長生きの秘訣は動物も人も同じ。ともに元気に過ごしていけるといいですね。（T.M）

本誌は「京都市人と動物が共生できるまちづくり基金」からも出資いただいています。まちづくり基金に寄附していただいた方の御名前はホームページにて公開いたします。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページでご覧いただけます。  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000147255.html>

## センターへのアクセス

- ・近鉄十条駅から徒歩5分
- ・京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
- ・京都市営バス十条大宮 停留所から徒歩5分



〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地  
電話：075-671-0336 FAX：075-671-0338  
開所時間：午前9時～午後5時  
休所日：木曜日（祝日の場合は翌金曜日）、年末年始

発行：京都動物愛護センター

平成 27 年 10 月 30 日

## 特集

高齢犬猫の長生きの秘訣

毎日のケアでいきいき

## シニアライフ

人間もペットも高齢化の時代です。犬や猫なら、10歳でもうシニア。今回は犬猫の、長寿の秘訣について探ってみました！

**シニア猫の暮らし** アントニオくんは現在14歳。女優で京都動物愛護センター名誉センター長の杉本彩さんの愛猫です。「アントニオはすごい食いしんぼう。何でも食べます。フードは、特にシニアの子に消化のいい材料で手作りするなど、健康には気を配っています」とのこと。

実はアントニオくん、生後3カ月頃保護された時には、虐待されていたらしく、人間恐怖症で、足に障がいもあったそうです。「家の中をすごい早足で歩くことはできるのですが、登ったり降りたりは苦手。トイレもお利口にできるけれど、足の角度がずれるのか、たまに外に出てしまうので深い形のトイレにするといった工夫もしています」

「猫たちがいると笑いが絶えません。パソコンのキーボードに陣取ったり、いないと思ったら洗濯籠の中に2匹いたり」御自身がとても苦しい時期に、アントニオくんが心を許してくれたことで気持ちが前向きになったそうです。お世話は大変だったのですが、苦勞を補って余りある喜びをも



▲アントニオくん



▲杉本彩名誉センター長

たらしてくれたのだと強く感じました。

今後の暮らしについては「最期まで寝たきりにしないということがテーマだと思っています」と猫にも犬にも共通する重要なテーマを挙げておられました。では長生きの秘訣について中面でご紹介します！（オバQ）



▲杉本彩さんの猫たち